

2021年8月11日

横浜ゴム、インドに建設中のオフハイウェイタイヤ新工場の 生産能力を 2.2 倍に増強

横浜ゴム（株）は、農業機械用タイヤなどオフハイウェイタイヤ（OHT）の生産販売子会社である Yokohama Off-Highway Tires（ヨコハマ・オフハイウェイタイヤ＝YOHT）の生産能力の増強を図るため、インドに建設中の Visakhapatnam（ヴィシャカパトナム）工場において追加増産投資を実施します。追加投資額は1億7,100万米ドルで、同工場の生産能力は当初予定していた日量55トン（第1期／ゴム量）に、今回（第2期）増強分を加えて日量123トン（ゴム量）となります。第1期は2023年第1四半期、第2期は2024年第1四半期からの生産開始を予定しています。

横浜ゴムは2021年1月、OHT事業の強化を目的に当社のOHT事業とOHT専門のグループ会社であるATG（アライアンスタイヤグループ）をYOHTの名のもとにグローバルで事業統合しました。YOHTは現在、インドにDahej（ダヘジ）工場（グジャラート州）とTirunelveli（ティルネルヴェリ）工場（タミル・ナドゥ州）を有し、主力ブランドであるALLIANCE（アライアンス）、GALAXY（ギャラクシー）、PRIMEX（プライメクス）の農業機械、建設車両、産業車両、林業機械用タイヤなどを生産しています。世界的な需要増を背景にダヘジ工場の生産能力拡張に加え、2020年第3四半期からヴィシャカパトナム新工場の建設を進めてきましたが、OHT需要はますます増加することが見込まれており、同工場のさらなる生産増強を決定しました。敷地面積は今回取得した隣接地の約7万m²を含めて約39万m²となり、将来のさらなる能力増強も視野に入れていきます。

横浜ゴムは2021年度から2023年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）のタイヤ生産財戦略においてOHT事業をさらなる成長ドライバーと位置づけ、「YOKOHAMA」「ALLIANCE」「GALAXY」「PRIMEX」「AICHI」のマルチブランドによる市場展開と顧客要望への対応力を強みに事業拡大を図るとともに、生産能力増強によりグローバル競争力の強化をさらに加速させていきます。

<ヴィシャカパトナム工場の概要>

会社名：ATC Tires AP Pvt. Ltd.

所在地：インド Atchutapuram（アチュタプラム）工業団地（アンドラプラデシュ州ヴィシャカパトナム）

事業内容：オフハイウェイタイヤの生産・販売

生産品目：「ALLIANCE」「GALAXY」「PRIMEX」ブランドタイヤ

生産能力：日量123トン（ゴム量）※第2期増強分を含む

敷地面積：約39万m²

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：山崎

TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570